

# 2025年度 IRミーティング

代表取締役社長

中井 亨

2026年3月2日

01

## イントロダクション

代表取締役社長 中井 亨

02

Q&A

# 2025年度 これまでの成果

2025年度

4月

NS-229 米国におけるオーファンドラッグ指定

6月

米ボストン小児病院との、希少疾患に対する革新的な治療薬の開発を目的とした戦略的提携契約

9月

NS-229 米国におけるファストトラック指定

NS-051/NCNP-04 米国におけるオーファンドラッグ指定

ジャイパーカ 他のBTK 阻害剤に抵抗性又は不耐容の再発又は難治性の慢性リンパ性白血病に対する適応追加承認を取得

NS-421/C21 日本における希少疾病用医薬品指定

11月

ガザイバ 未治療の慢性リンパ性白血病に対してベネトクラクスとの併用可能に

12月

エルゾンリス 製造販売承認取得

オプスミット Johnson & Johnsonによる小児の肺動脈性肺高血圧症に対する承認取得

FRONTEO社と、AI技術を活用した標的探索に関する共創プロジェクトを開始

# 2024年度～2028年度の第七次5か年中期経営計画

## ～For Global Growth Beyond the Cliff～

2024年05月27日開示  
「第七次5か年中期経営計画  
(2024年度～2028年度)  
～For Global Growth Beyond the Cliff～」  
p.19

第七次中期経営計画では、ありたい姿の実現に向けて、「3つの重点テーマと5つの経営基盤の強化」を推進する。医薬品事業、機能食品事業それぞれで、事業戦略に基づいた優先順位づけによる経営資源配分・コスト削減を徹底し、事業ごとの資本効率性をROIC※で管理して、資本コストを上回る収益を確保する。

※ROIC (%) = 税引後営業利益 ÷ 投下資本 (固定資産 + 正味運転資本)

2028年度定量目標

売上収益 2,300億円

営業利益 300億円

EPS 341円

ROE 8%以上

ROIC 9%以上

3つの重点テーマ

I

ウプトラビに替わる  
成長ドライバーの育成

II

グローバル展開  
の拡大

III

継続的な  
パイプラインの拡充

5つの経営基盤の強化

①

持続可能な社会  
の実現に向けた  
サステナビリティ  
経営の推進

②

研究開発の  
スピードアップ

③

社員一人ひとりが  
成長し多様な  
人財が活躍できる  
人的資本経営の推進

④

デジタル化推進  
による業務変革と  
生産性の向上

⑤

サステナブルな  
成長に向けた  
財務戦略

# 新製品の上市目標

2025年5月8日開示  
「2024年度 決算説明会」p.16より改変

## 年平均2品目以上の新製品の発売を目指す

1. 適応追加
2. 品目の新規追加
3. 上市の繰り下げ

第七次中計期間						次期中計期間	
	2024年度 (実績)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
国内	NS-87 (ビキセオス) : 高リスクAML	NS-401 (タグラキソフスプ) : BPDCN	GA101 (ガザイバ) : 小児特発性ネフローゼ症候群	ZX008 (フィンテプラ) : CDKL5遺伝子欠損症	NS-089/NCNP-02 (プロギジルセン) : DMD	NS-035 : FCMD <sup>2</sup>	NS-050/NCNP-03 : DMD
	LY3527727 (ジャイパーカ) : r/r MCL	LY3527727 (ジャイパーカ) : r/r CLL <sup>1</sup>		GA101 (ガザイバ) : ループス腎炎	GA101 (ガザイバ) : 腎症を伴わないSLE <sup>3</sup>		NS-304 (セレキシパグ) : ASO
	NS-304 (ウプトラビ) : 小児PAH						
海外			CAP-1002 (deramiocel) (米) : DMD心筋症 <sup>3</sup>	NS-089/NCNP-02 (プロギジルセン) (米) : DMD		NS-050/NCNP-03 (米) : DMD	
						ATSN-101 (米) : LCA1 <sup>3</sup>	

注 : NS-051/NCNP-04 (日本、米国) およびNS-065/NCNP-01 (欧州、中国) は、いずれも当局との協議継続中であり、上市時期未定 (開発継続)。  
**ムコ多糖症治療剤 RGX-111およびRGX-121は2026年1月にFDAより臨床試験の実施保留命令 (クリニカル・ホールド) を受けたため、上市時期未定。**

AML: 急性骨髄性白血病、r/r MCL: 他のBTK阻害剤に抵抗性又は不耐容の再発又は難治性のマンテル細胞リンパ腫、PAH: 肺動脈性肺高血圧症、BPDCN: 芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍、  
 r/r CLL: 他のBTK阻害剤に抵抗性又は不耐容の再発又は難治性の慢性リンパ性白血病、DMD: デュシェンヌ型筋ジストロフィー、SLE: 全身性エリテマトーデス、  
 FCMD: 福山型筋ジストロフィー、LCA1: GUCY2D遺伝子変異型レーバー先天性黒内障、ASO: 閉塞性動脈硬化症

## 将来見通しに関する注意事項

- ▶ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文書は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文書とは異なる現実的な結論、結果を招きうる不確実性に基づくものです。
- ▶ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、貨幣為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了ならびに中止、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関からの承認取得、国内外の社会保障制度関連改革、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- ▶ また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- ▶ 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。